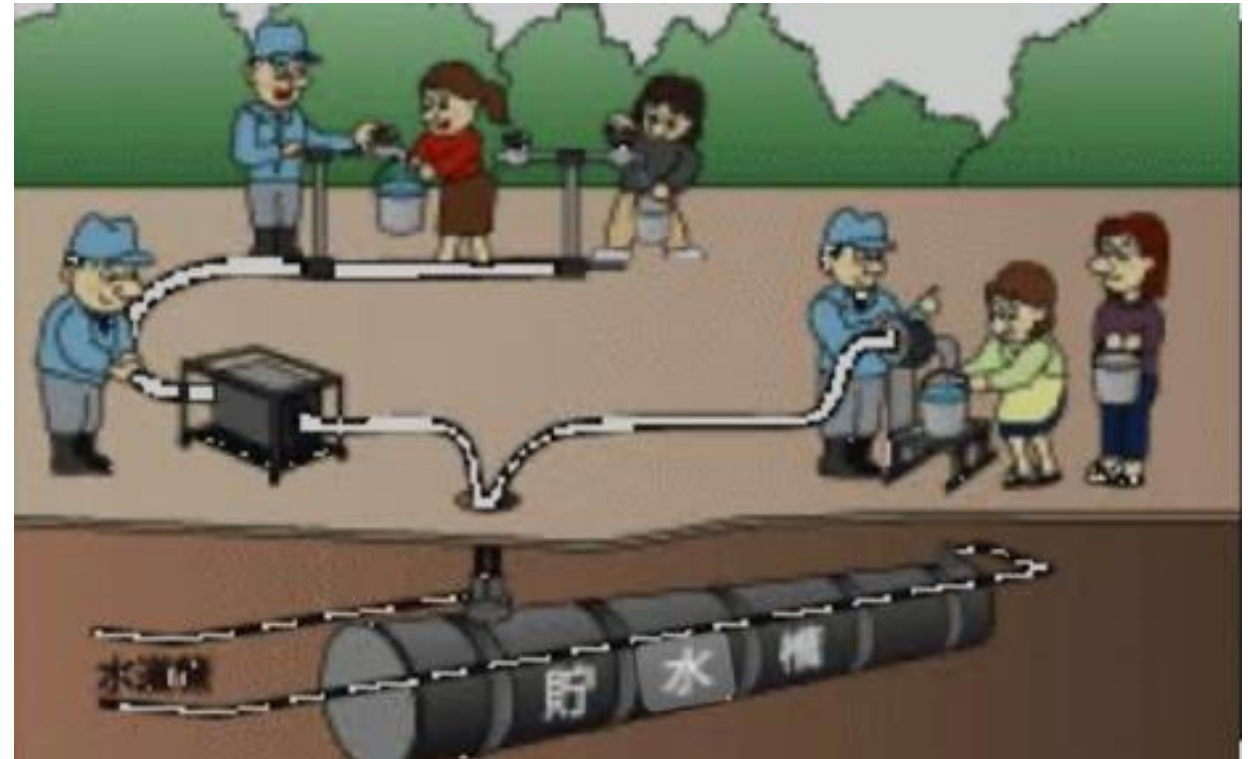


耐震性貯水槽の使い方



耐震性貯水槽とは？

- 水道管の途中に設置している貯水槽のことです。
- 災害時には自動で遮断弁等が作動し、貯水槽内に水を貯留します。貯留した水を飲み水や消火用水等として使用することができる施設です。



耐震性貯水槽の設置場所について

- 耐震性貯水槽は市内に7基設置しています。
- ※設置場所については下表をご確認ください。

施設名	所在地	貯水量 (m ³)
吉川松伏消防組合	会野谷481番地	100
中曽根小学校	中曽根二丁目4番地	100
吉川小学校	平沼73番地	100
なまずの里公園	保933番地	100
旭小学校	南広島1940番地	40
三輪野江小学校	加藤641番地	40
吉川中学校	美南五丁目17番地1	100

耐震性貯水槽の使用法

(例) なまずの里公園 資機材の保管場所はトイレ脇倉庫

エンジンポンプを使用する場合

使用する資機材

蛇口

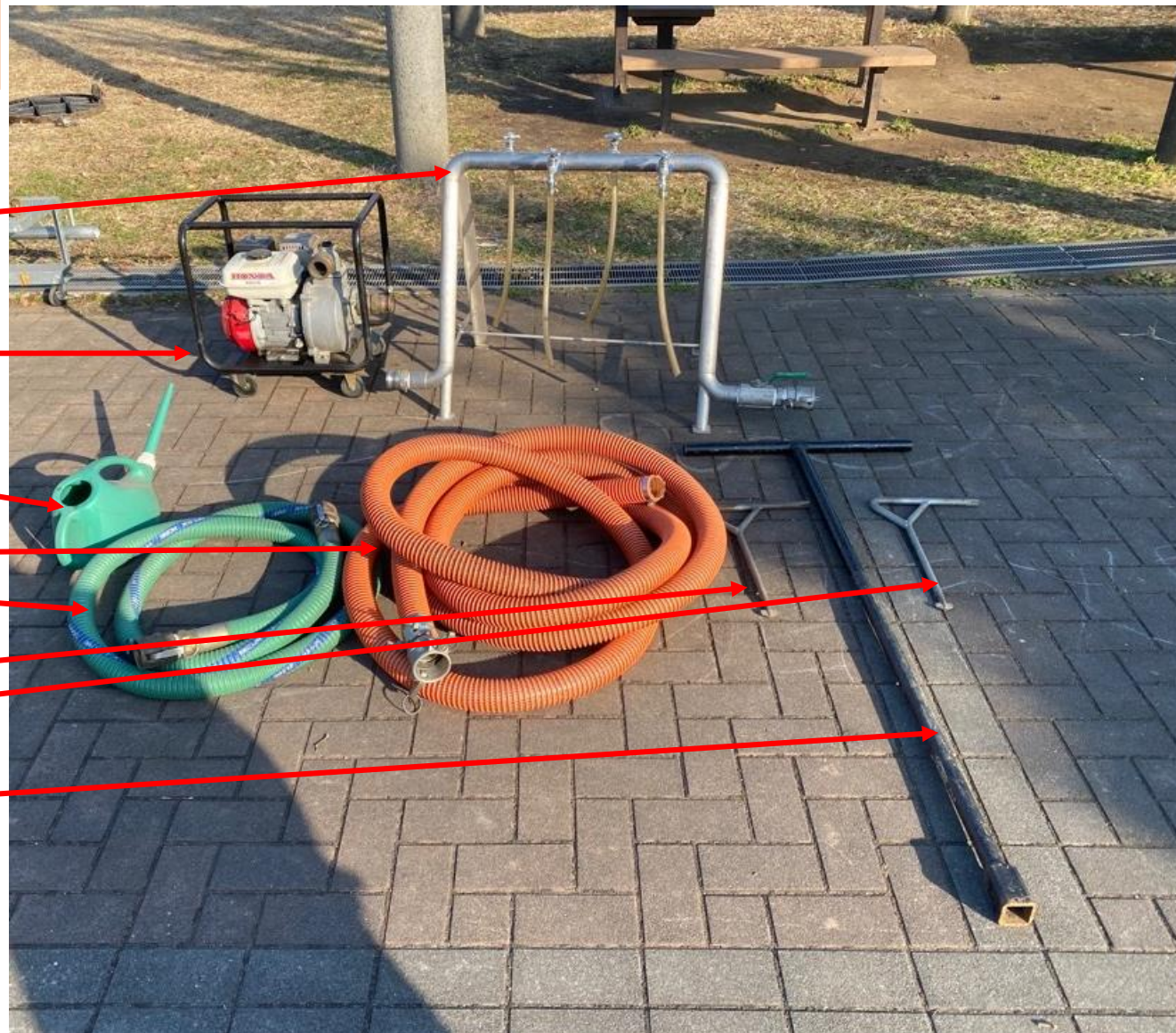
エンジンポンプ

じょうろなど

ホース

フック

スピンドル



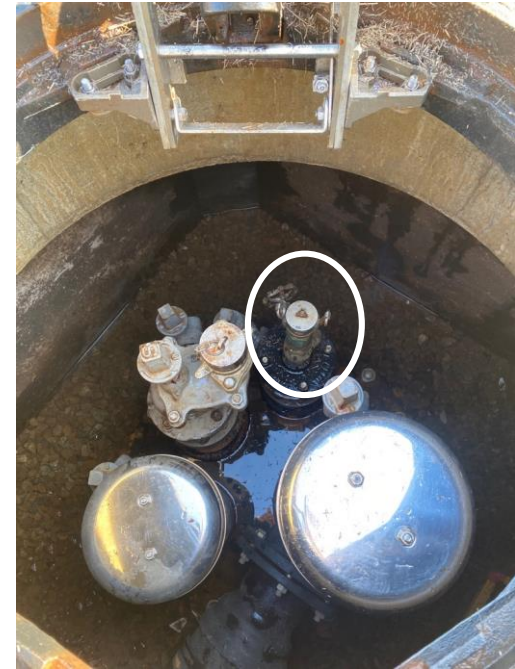
手順 1 .貯水槽のフタを開けます。



①貯水槽の表示がある鉄蓋の穴にフックの先端を入れます。



②フックを使用してフタを開けます。この時、手を挟まないように十分注意してください。



③白の線で囲ってある部分にホースを接続します。

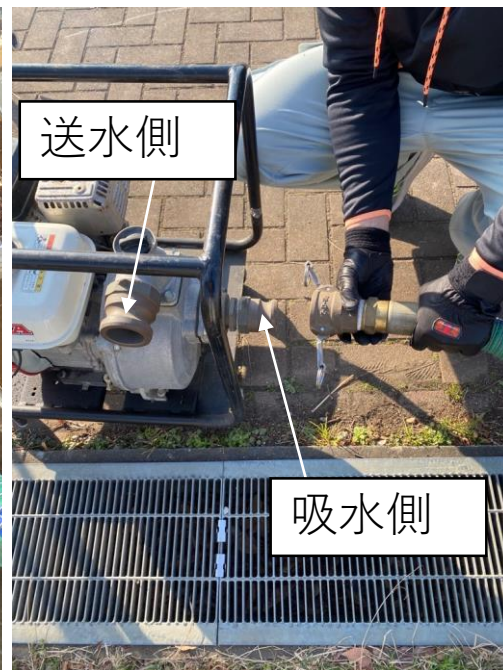
手順2.ホースを接続します。



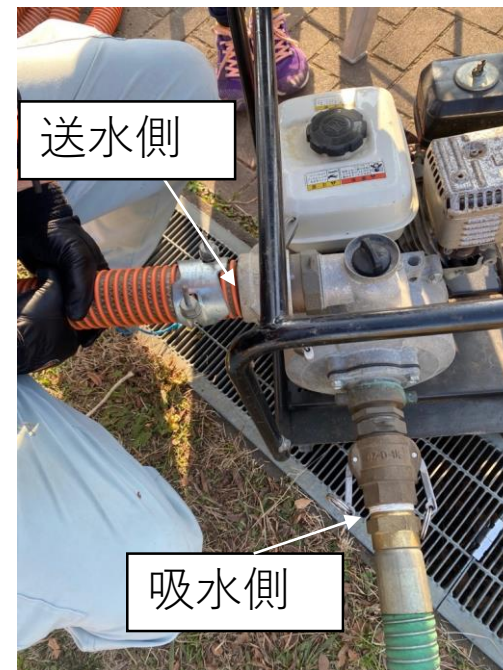
①ホースを接続する部分のキャップを外します。



②ホースを接続します。



③エンジンポンプの吸水側に先ほどのホースを接続します。



④エンジンポンプの送水側にホースを接続します。



⑤蛇口に送水側のホースを接続します。

手順3.送水の準備をします。



①スピンドルの先端を使用して、給水口を回します。



②開閉バルブを開ける方向に回します。



③エンジンポンプを起動させ、呼び水を送ります。

手順4.準備完了



準備が整い、蛇口をひねれば水が出てくるようになりますが、通水当初は濁った水が出る可能性がありますので、きれいな水ができるまで水を流してください。

手動式ポンプを使用する場合

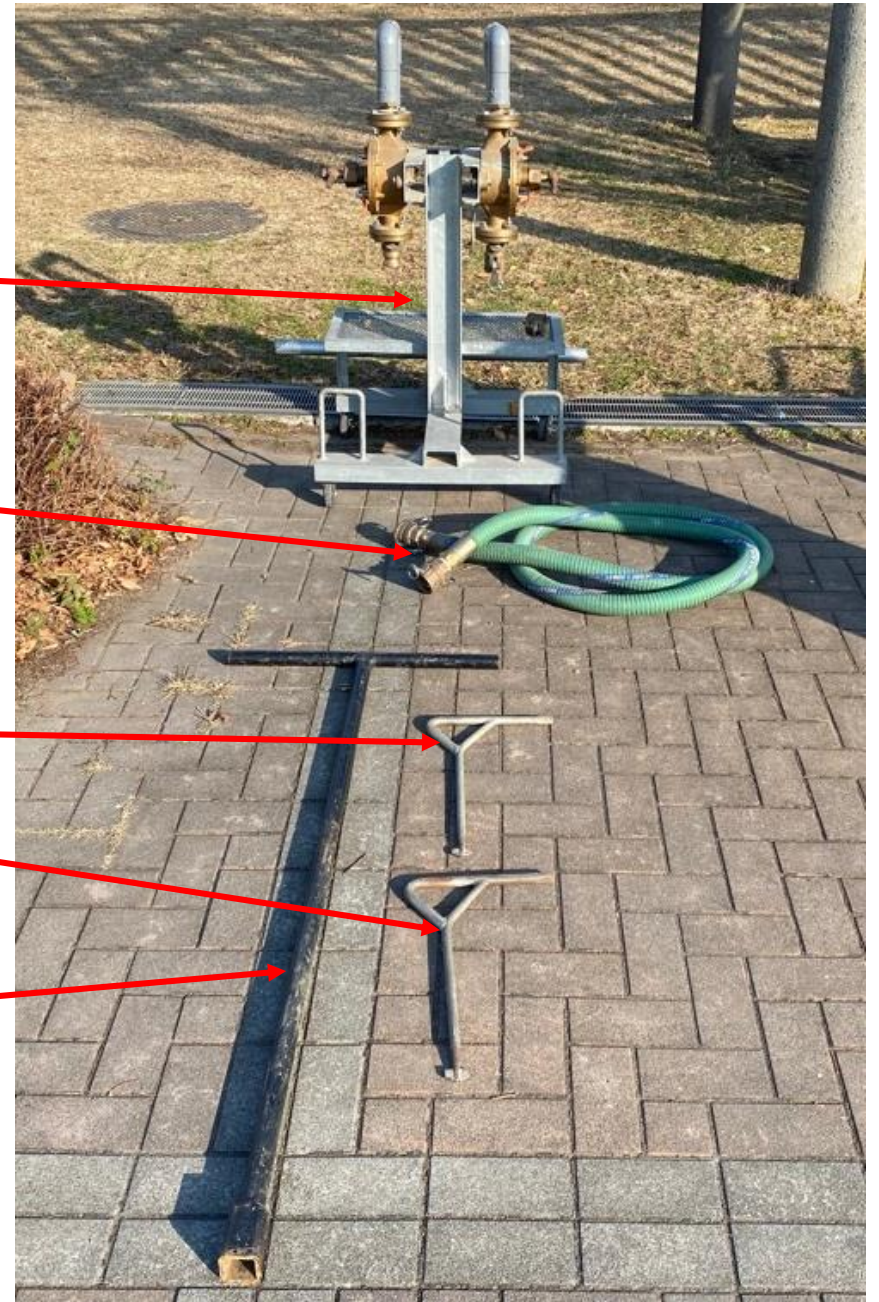
使用する資機材

手動式ポンプ

ホース

フック

スピンドル



手動ポンプの設定

※手順1.貯水槽のフタの開け方、手順2.ホースの接続、手順3.送水の準備はエンジンポンプを使用する場合と同様です。



①手動ポンプのキャップを外し、ホースを接続します。



②手動ポンプを手で上げ下げすることで水がでます。



準備完了



準備が整い、手動ポンプを操作すれば水が出るようになりますが、通水当初は濁った水が出る可能性がありますので、きれいな水がでるまで水を流してください。